

全国街路事業促進協議会

会長賞

有田内山地区歴史的地区環境整備街路事業 年木谷通り線

(表彰対象者：佐賀県有田町建設課)

表彰の理由

地域の歴史的環境に合った材料の選択と設計施工がなされ、単なる通行路としてではなく沿道の施設と一体となつた魅力的な散策路として潤いのある道路空間が創造された。

事業のあらまし

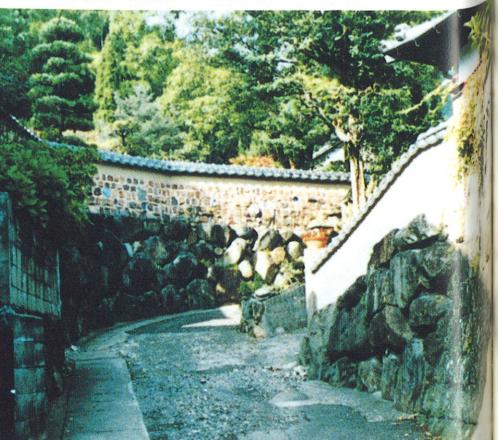
有田内山地区歴史的地区環境整備街路事業は、日本磁器発祥の地であり、町内でも史跡、窯跡、伝統的街並みなど歴史的文化遺産の多く残る有田内山地区（現存の上有田）を「国際的な陶磁文化のふるさと」として整備を図ることにより、歴史的環境の保全や個性あふれる街づくりを行うことを目的とし、主に幅員4m以下の裏通りを単なる通行路としてだけでなく、史跡、文化財等を快適につなぐ道筋として位置づけた魅力的な散策路として整備することとし、平成3年度から当路線の事業に着手したものである。

- 延長：182m
- 幅員：2.7m
- 事業費：34百万元
- 事業実施期間：平成3年12月～平成5年3月



起点側全景であり、散歩道だけでなく住民にとってのふれあいの場ともなっている。

起点側全景で散策路として整備するもので、住民にとって心地良い散歩道や観光客にとって興味深い道筋とする。



自然的景観と歴史的雰囲気をもしだすべく自然石によるきめ細かいデザインと排水溝の整備を行なっている。



周辺には自然石による擁壁とトンパイと呼ばれる窯跡を再利用し自然的景観と歴史的雰囲気をもしだしている。



安全性のあるガードレール、ガードパイプではあるが、街並み景観に調和していない。



自然的景観を壊さないように配慮した町並み景観に調和した河川の手摺り。

事業遂行上の工夫

裏通りの旧整備にあわせ違和感のない自然に馴染んだものとして、三間坂石等自然石による舗装は歴史的雰囲気をより豊かにするもので、きめ細かいデザインになるよう配慮している。また、街並み形成上のウエイトを占める個人住宅について、有田にふさわしい住宅計画を地元建築技術者によるHOPE研究会が現在も続けられている。